科目区分・科目名	専門基礎分野：解剖生理学Ⅰ
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標：１．人体における細胞・組織の構造と機能を理解できる。
２．人体における身体の支持と運動を理解できる。
３．人体における栄養と消化・吸収を理解できる。

授業計画

回	内　　容
１～３	１．解剖生理学のための基礎知識 （１）形からみた人体 （２）素材からみた人体 （３）機能からみた人体
４～８	２．身体の支持と運動 （１）骨格とはどのようなものか （２）骨の連結 （３）骨格筋 （４）体幹の骨格と筋 （５）上肢の骨格と筋 （６）下肢の骨格と筋 （７）頭頸部の骨格と筋 （８）筋の収縮
９～１５	３．栄養の消化・吸収・代謝 （１）口・咽頭・食道の構造と機能 （２）腹部消化管の構造と機能 （３）膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 （４）腹膜
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能（１）　解剖生理学　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	専門基礎分野：解剖生理学Ⅱ
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）
科目目標：１．内臓機能の調節を理解できる。 ２．生殖・発生と老化のしくみを理解できる。 ３．人体における呼吸と血液の働きを理解できる。	

授業計画

回	内　　容
１～５	１．内部環境を整える仕組み （1）自律神経による調節 （2）内分泌系による調節 （3）全身の内分泌腺と内分泌細胞 （4）ホルモン分泌の調節 （5）ホルモンによる調節の実際
６～９	２．生殖・発生と老化の仕組み （1）男性生殖器 （2）女性生殖器 （3）受精と胎児の発生 （4）成長と老化
１０～１５	３．呼吸と血液のはたらき （1）呼吸器の構造 （2）呼吸 （3）血液
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能（1）　解剖生理学 医学書院
備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）	

科目区分・科目名	専門基礎分野：解剖生理学Ⅲ
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標：１．血液の循環とその調節を理解できる。
２．体液の調節と尿の生成を理解できる。
３．身体機能の防御と適応を理解できる。

授業計画

回	**内　　容**
１～８	１．血液の循環とその調節 （１）循環器系の構成 （２）心臓の構造 （３）心臓の拍出機能 （４）末梢循環系の構造 （５）血液の循環の調節 （６）リンパとリンパ管
９～１１	２．体液の調節と尿の生成 （１）腎臓 （２）排尿路 （３）体液の調節
１２～１５	３．身体機能の防御と適応 （１）皮膚の構造と機能 （２）生体の防御機構 （３）代謝と運動 （４）体温とその調節
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能（１）　解剖生理学　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	専門基礎分野：解剖生理学Ⅳ
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）
科目目標： １．人体における情報の受容と処理を理解できる。	

授業計画

回	**内　　容**
１～１５	１．情報の受容と処理 （１）神経系の構造と機能 （２）脊髄と脳 （３）脊髄神経と脳神経 （４）脳の高次機能 （５）運動機能と下行伝導路 （６）感覚機能と上行伝導路 （７）眼の構造と視覚 （８）耳の構造と聴覚・平衡覚 （９）味覚と嗅覚 ⑽ 痛み（疼痛）
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能（１）　解剖生理学　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	専門基礎分野：形態機能学
授業形態	講義・演習
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（１５時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	専任教員（＊）

科目目標： １．人間の生活行動を、看護の視点から理解できる。

授業計画

回	**内　　容**
１（45 分）	１．学習ガイダンス ２．生活行動からみるからだ
２～８	３．日常生活における「動く」ことのメカニズム （１）姿勢 （２）神経から筋への指令と筋の収縮 （３）意図的ではない運動と意図的な運動 （４）骨格・骨格筋・関節 （５）日常生活での基本的動き ４．日常生活における「食べる」ことのメカニズム （１）食欲 （２）食行動 （３）咀嚼し味わう （４）飲み込む（嚥下） （５）消化と吸収 （６）日常生活における「食べる」ことの意義 ５．日常生活における「トイレに行く」ことのメカニズム （１）排尿（尿意・排尿・尿の生成・体液量調節の機構） （２）排便（便意・排便） （３）日常生活における「トイレに行く」ことの意義 ６．日常生活における「息をする」ことのメカニズム （１）息を吸う・息を吐く （２）ガス交換 （３）日常生活における「息を吸う」ことの意義
評価方法	筆記試験、成果物
テキスト	看護形態機能学　生活行動からみるからだ、日本看護協会出版会 系統看護学講座　専門基礎　人体の構造と機能Ⅰ　解剖生理学　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

事前課題・事後課題あり

科目区分・科目名	専門基礎分野：生化学
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）
科目目標： １．生体を構成する物質とその代謝について理解できる。 ２．遺伝情報とその発現について理解できる。	

授 業 計 画

回	内　　容
１	１．生化学総論：生化学を学ぶための基礎知識
２	２．代謝の基礎と酵素・補酵素
３	３．糖質の構造と機能
４～５	４．糖質代謝
６	５．脂質の構造と機能
７	６．生体内の物質代謝：脂質代謝
８	７．タンパク質の構造と機能
９	８．タンパク質代謝・翻訳と翻訳後修飾
１０	９．ポルフィリン代謝と異物代謝・遺伝子と核酸
１１	１０．遺伝子の複製・修復・組換え
１２	１１．転写
１３	１２．シグナル伝達
１４	１３．がん
１５	まとめ
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能（２）生化学　医学書院
備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）	

科目区分・科目名	専門基礎分野：病理学
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	１単位（１５時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）
科目目標： １．さまざまな疾病の原因、疾病がもたらす身体内部の変化を理解できる。	

授業計画

回	**内　　容**
１	１．病態・病理学総論
２	２．細胞･組織の障害と修復、炎症
３	３．免疫・移植と再生医療　　遺伝性疾患
４	４．循環障害
５	５．代謝異常
６	６．老化と死
７	７．先天異常と遺伝子異常
８	８．腫瘍
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進（1）　病理学　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	専門基礎分野：微生物学
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標：１．病原微生物の種類、特徴を理解できる。
２．感染症とその予防について理解できる。

授 業 計 画

回	**内　容**
１	総論①　ガイダンス、微生物学の歴史、生活に関わる微生物、感染成立と発症、毒素、検査
２	総論②　免疫、微生物の分類、微生物の形態と概要（細菌、ウイルス、真菌、原虫）
３	グラム陽性菌①　ブドウ球菌（MRSA 含む）、レンサ球菌（肺炎球菌）、腸球菌
４	グラム陽性菌②　芽胞形成菌（バシラス属、クロストリディオイデス属）、芽胞非形成菌、リステリア属
５	グラム陽性菌③　マイコバクテリウム属（結核菌、非定型抗酸菌、らい菌）
６	グラム陰性菌①　淋菌、髄膜炎菌、緑膿菌、レジオネラ属、百日咳、
７	グラム陰性菌②　大腸菌、赤痢菌、チフス菌、肺炎桿菌、ペスト菌
８	グラム陰性菌③　コレラ菌、ビブリオ菌、インフルエンザ菌、らせん菌
９	グラム陰性菌④　スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア
１０	DNA ウイルス　ヘルペスウイルス科、アデノウイルス科、パピローマウイルス科
１１	RNA ウイルス①　インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、ノロウイルス
１２	RNA ウイルス②　ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、ヒト免疫不全ウイルス、肝炎ウイルス
１３	滅菌と消毒
１４	抗菌薬、抗ウイルス薬、ワクチン、院内感染対策
１５	真菌・原虫・寄生虫
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進（４）　微生物学　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	専門基礎分野：薬理学Ⅰ
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（１５時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標： １．薬物の特徴、作用機序と副作用を理解できる。
２．検査薬・診断薬を理解できる。
３．医薬品等による健康被害について理解できる。

授 業 計 画

回	**内　　容**
1	１．薬による病気の治療
2	２．薬が作用するしくみ
3	３．薬の体内の挙動
4	４．薬物相互作用
5	５．薬効の個人差に影響する因子
6	６．薬物使用の有益性と危険性
7	７．薬と法律
8	まとめ
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進（3）　薬理学 医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）
予め講義に使用する教科書を予定の範囲通読しておくこと。講義内容を教科書や講義で配布したプリントを参考に復習すること。

科目区分・科目名	専門基礎分野：薬理学Ⅱ
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標： １．薬物の種類と作用機序・副作用を理解できる。

授業計画

回	**内　　容**
1	１．抗感染症薬
2	２．抗感染症薬と消毒薬
3	３．抗がん薬
4	４．免疫治療薬
５～６	５．抗アレルギー・抗炎症薬
７～１０	６．神経系に作用する薬物 （１）末梢での神経活動に作用する薬物 （２）中枢神経系に作用する薬物
１１～１５	７．循環器系に作用する薬物 ８．呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 ９．物質代謝に作用する薬物　　他
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進（３）　薬理学　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

予め各項目に関連する生理機能並びに病態について教科書等を用いて理解しておくこと。**講義内容を教科書や講義で配布したプリントを参考に復習すること。**

科目区分・科目名	専門基礎分野：栄養学
授業形態	講義・演習
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標： １．人間の活動に必要な栄養の意義及び適切な栄養の摂取について理解できる。
２．食事療法の意義と方法を理解できる。
３．疾病治療のための食事（栄養補給）と栄養素の機能を理解できる。

授業計画

回	内　　容
１	１．健康と栄養：　健康生活の維持・増進や疾病予防、健康障害の回復への治療
２～３	２．ライフステージと健康教育 （１）日常生活と栄養 （２）栄養指導
４～１４	３．疾患・状態別の栄養管理 （１）代謝系疾患・栄養障害 （２）内分泌系疾患 （３）消化器系疾患 （４）循環器系疾患 （５）腎・尿路系臓疾患 （６）神経・精神系疾患 （７）呼吸器系疾患： （８）血液・造血器系疾患 （９）運動器系疾患：骨粗鬆症 （１０）免疫・アレルギー疾患 （１１）感染症 （１２）がんとターミナルケア （１３）摂食嚥下障害 （１４）小児・妊産婦・高齢者
１５	栄養管理　まとめ
評価方法	筆記試験　成果物
テキスト	栄養科学イラストレイテッド　臨床栄養学　疾患別編　本田佳子編　羊土社

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	専門基礎分野：病態と治療総論
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	１単位（１５時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標：　１．生体の障害と機序を理解できる。
２．診断・治療に必要な臨床検査、放射線検査を理解できる。
３．主な治療法である放射線療法、手術療法、リハビリテーション療法を理解できる。

授業計画

回	内　容
１～３ 1回目は1時間	１．生体の障害と機序 （1）意識障害　（2）悪心・嘔吐・腹痛　（3）体液・代謝異常　（4）呼吸障害
４	２．検体検査 （1）尿検査　（2）便検査　（3）血液検査　（4）生化学検査　（5）血清検査 ３．生体機能検査 （1）心電図　（2）呼吸機能検査
５	４．画像検査 （1）X線診断　（2）MRI　（3）超音波診断　（4）核医学診断 ５．放射線療法 （1）人体に対する放射線の治療　（2）放射線治療の方法　（3）放射線障害 （4）放射線防護の基本
６	６．手術療法 （1）手術療法の目的と意義　（2）手術侵襲と生体の反応　（3）炎症と外科的感染症 （4）創傷の治癒過程　（5）手術後合併症　（6）手術後の疼痛管理
７	７．麻酔療法 （1）麻酔法の分類　（2）麻酔薬の条件　（3）麻酔に使用される薬剤 （4）麻酔前の準備　（5）気管内挿管 ８．全身麻酔 （1）全身麻酔とは　（2）吸入麻酔　（3）静脈麻酔　（4）全身麻酔中、後の合併症 ９．局所麻酔 （1）浸潤麻酔、表面麻酔　（2）腰椎麻酔　（3）硬膜外麻酔
８	１０．リハビリテーション （1）リハビリテーション療法の目的 （2）リハビリテーション療法の種類と方法（運動療法、物理療法、作業療法、言語療法）
評価方法	筆記試験
テキスト	１　系統看護学講座　別巻　救急看護学　医学書院 ２　系統看護学講座　別巻　臨床検査　医学書院 ３　系統看護学講座　別巻　臨床放射線医学　医学書院 ４　系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論　医学書院

	5　系統看護学講座　別巻　リハビリテーション看護　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

事前課題あり

科目区分・科目名	専門基礎分野：病態と治療Ⅰ
授業形態	講義
履修年次・時期	２年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標：１．運動器系に障害を持つ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。
２．消化器系に障害を持つ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。
３．内分泌・代謝系に障害を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。

授業計画

回	内　容
１～５	１．骨・関節の疾患の病態、症状、検査、治療 （１）骨折、脱臼、捻挫 （２）骨粗鬆症 （３）筋・腱・靭帯の損傷（半月板損傷） （４）先天性疾患（先天性股関節脱臼） （５）変形性関節症 （６）炎症性疾患（骨髄炎、関節炎） （７）腫瘍（骨肉腫） （８）脊椎疾患
６～１２	２．消化器疾患の病態、症状、検査、治療 （１）腫瘍（食道癌、胃癌、大腸癌、結腸癌、膵臓がん、肝臓がん） （２）炎症性疾患（逆流性食道炎、膵炎、肝炎、潰瘍性大腸炎、クローン病） （３）イレウス （４）潰瘍性疾患（胃・十二指腸潰瘍） （５）胆石症 （６）肝硬変
１３～１５	３．内分泌代謝疾患の病態、症状、検査、治療 （１）メタボリックシンドローム、肥満症 （２）糖尿病 （３）甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎） （４）副甲状腺（上皮小体）疾患 （５）腫瘍（下垂体腫瘍、甲状腺癌） （６）間脳・下垂体疾患
評価方法	筆記試験
テキスト	１　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（１０）　運動器　医学書院 ２　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（５）　消化器　医学書院 ３　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（６）　内分泌・代謝　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	専門基礎分野：病態と治療Ⅱ
授業形態	講義
履修年次・時期	２年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標：１．女性生殖器系に障害をもつ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。
２．呼吸器系に障害をもつ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。
３．血液・造血器系に障害をもつ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。
４．アレルギー　膠原病　感染症をもつ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。

授業計画

回	内　　容
１～４	１．女性生殖器疾患の病態、症状、検査、治療 （１）腫瘍（乳がん、子宮体がん、卵巣がん） （２）子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍 （３）月経異常、更年期障害 （４）性感染症
５～８	２．呼吸器疾患の病態、症状、検査、治療 （１）炎症性疾患（気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎） （２）肺結核 （３）気管支喘息 （４）慢性閉塞性肺疾患（COPD） （５）腫瘍（肺がん、中皮腫） （６）気胸 （７）肺循環障害（肺高血圧、肺塞栓症）
９～１２	３．血液造血器疾患の病態、症状、検査、治療 （１）貧血 （２）白血病 （３）骨髄異形成症候群 （４）特発性血小板減少症紫斑病 （５）悪性リンパ腫 （６）多発性骨髄腫 （７）無顆粒球症 （８）播種性血管内凝固症候群（DIC）
１３～１５	４．アレルギー　膠原病　感染症の病態、症状、検査、治療 （１）関節リウマチ （２）全身性エリテマトーデス （３）全身性強皮症 （４）多発性筋炎・皮膚筋炎 （５）シェーグレン症候群 （６）ベーチェット病 （７）ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症

評価方法	筆記試験
テキスト	１　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（9）　女性生殖器　医学書院 ２　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（2）　呼吸器　医学書院 ３　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（4）　血液・造血器　医学書院 ４　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（１１）　アレルギー　膠原病　感染症　医学書院
備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）	

科目区分・科目名	専門基礎分野：病態と治療Ⅲ
授業形態	講義
履修年次・時期	２年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 （＊印：実務経験有）	非常勤講師（＊）

科目目標：１．循環器系に障害を持つ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。
２．腎泌尿器系に障害を持つ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。
３．精神に障害を持つ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。

授業計画

回	内　　容
１～６	１．循環器疾患の病態、症状、検査、治療 （１）虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞・冠状動脈硬化） （２）心筋症 （３）心不全 （４）心タンポナーデ （５）不整脈（徐脈性不整脈、頻脈性不整脈、致死性不整脈） （６）炎症性疾患（感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎） （７）弁膜症 （８）静脈系疾患（深部静脈血栓症・静脈瘤・肺塞栓） （９）動脈系疾患（大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症） ⑽ 血圧異常（低血圧・高血圧） ⑾ ショック ⑿ 川崎病 ⒀ 先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、ファロー四徴症）
７～１０	２．腎・泌尿器疾患の病態、症状、検査、治療 （１）腎炎と慢性腎臓病 （２）炎症性疾患（腎盂腎炎・膀胱炎） （３）腫瘍（腎がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん） （４）腎・尿路結石 （５）排尿障害（前立腺肥大、過活動膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症） （６）腎不全 （７）ネフローゼ症候群 （８）先天性尿路異常（腎低形成）

１１～１５	５．精神疾患の病態、症状、検査、治療 （1）統合失調症 （2）気分障害 （3）神経症性障害・ストレス関連障害（不安障害・強迫性障害・適応障害・解離性障害等） （4）精神作用物質使用による精神および行動の障害（アルコール症・その他） （5）各発達段階で現れやすい精神障害・心的不調（知的能力障害・知的発達障害・てんかん・発達障害、摂食障害、パーソナリティ障害、適応障害） （6）外因性精神障害（認知症）
評価方法	筆記試験
テキスト	1　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（3）　循環器　医学書院 2　系統看護学講座　専門分野　小児看護学（2）　小児臨床看護各論　医学書院 3　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（8）　腎・泌尿器　医学書院 4　系統看護学講座　専門分野　精神看護学（1）　精神看護の基礎　医学書院
備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）	

科目区分・科目名	専門基礎分野：病態と治療Ⅳ
授業形態	講義
履修年次・時期	２年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 （＊印：実務経験有）	非常勤講師（＊）

科目目標：
1．脳神経系に障害を持つ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。
2．感覚器系に障害を持つ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。
3．先天性の障害を持つ対象のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。

授業計画

回	内　　容
１～７	１．脳神経疾患の病態、症状、検査、治療 （１）脳血管障害（脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞） （２）変性疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉、筋ジストロフィー） （３）脱随疾患（多発性硬化症） （４）認知症 （５）感染症（脳炎、髄膜炎） （６）頭部外傷（頭蓋骨骨折、硬膜外血腫、硬膜下血腫、脳挫傷、びまん性脳損傷） （７）機能性疾患（てんかん） （８）腫瘍（脳腫瘍） （９）ギランバレー症候群 (10) 髄液疾患（水頭症） (11) 脳性麻痺 (12) 無脳症、二分脊椎
８	２．感覚器疾患の病態、症状、検査、治療① （１）網膜症 （２）網膜剥離 （３）白内障 （４）緑内障 （５）斜視
９	３．感覚器疾患の病態、症状、検査、治療② （１）舌癌 （２）咽頭がん、喉頭がん （３）外耳疾患（外耳奇形、外耳道炎、外耳道異物） （４）中耳疾患（鼓膜損傷、中耳炎） （５）内耳・後迷路性疾患（内耳炎、メニエール病、難聴） （６）鼻腔疾患（鼻出血、アレルギー性鼻炎） （７）副鼻腔疾患（副鼻腔炎、上顎洞がん）
１０～１１	４．感覚器疾患の病態、症状、検査、治療③ （１）湿疹 （２）アトピー性皮膚炎

	（3）帯状疱疹 （4）熱傷 （5）褥瘡 （6）皮膚がん （7）白癬、疥癬 （8）蜂窩織炎
１２	5．先天性疾患の病態、症状、検査、治療 （1）出生前疾患（染色体異常・ダウン症候群・１８トリソミー） （2）新生児疾患（未熟児医療を含む） （3）小児に特有の腫瘍（脳腫瘍、その他の固形腫瘍） （4）食道閉鎖症 （5）鎖肛
１３	6．小児に特有の疾患の病態・症状・検査・治療 （1）肥厚性幽門狭窄症 （2）胆道閉鎖症 （3）腸重積 （4）ヒルスシュプルング症 （5）鼠径ヘルニア
１４～１５	7．感染症 （1）ムンプス （2）麻疹 （3）風疹 （4）水痘 （5）伝染性紅斑 （6）突発性発疹症 （7）手足口病 （8）ポリオ （9）百日咳 (10) ジフテリア (11) ノロ（ロタ）ウイルス感染症
評価方法	筆記試験
テキスト	1　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（7）　脳・神経　医学書院 2　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（１３）　眼　医学書院 3　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（１４）　耳鼻咽喉　医学書院 4　系統看護学講座　専門分野　成人看護学（１２）　皮膚　医学書院 5　系統看護学講座　専門分野　小児看護学（2）　小児臨床看護各論　医学書院
備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）	

科目区分・科目名	専門基礎分野：保健医療論
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（１５時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）

科目目標： １．医療の変遷を理解できる。
２．保健・医療・福祉の動向を理解できる。
３．国立病院機構の動向を理解できる。

授業計画

回	**内　　容**
１	１．医療の歩みと医療観の変遷
２	２．国立病院機構の役割と機能
３	３．健康・生命をめぐる新たな課題
４	４．医療と看護の原点
５	５．健康生活と医療
６	６．成熟する社会と人々の意識改革
７	７．医療の新しい視点
８	８．保健・医療の新しい潮流
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　別巻　総合医療論　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	専門基礎分野：公衆衛生
授業形態	講義
履修年次・時期	３年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師 非常勤講師（＊） 専任教員
科目目標： １．公衆衛生に関連する統計情報と組織的な保健活動を理解できる。	

授業計画

回	**内　　容**
１	１．公衆衛生の歴史
２～７	２．公衆衛生の技術 （１）疫学 （２）保健統計
８～１１	３．公衆衛生と地域保健 （１）地域における公衆衛生活動
	（２）学校保健
	（３）産業保健
１２	４．感染症とその予防
１３	５．食品衛生対策
１４～１５	６．環境衛生対策
評価方法	筆記試験
テキスト	１　系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度（２）公衆衛生 医学書院 ２　厚生労働統計協会:厚生の指標　増刊　国民衛生の動向
備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）	

科目区分・科目名	専門基礎分野：社会福祉
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師

科目目標： １．現代社会における家族や地域社会の変化を踏まえ、社会福祉の基礎概念を理解できる。
２．社会福祉へのニーズと社会資源を理解できる。
３．今日の社会福祉の問題と課題を考察できる。

授業計画

回	**内　　容**
１～２	１．現代社会と社会福祉
３	２．社会福祉の変遷
４～７	３．社会福祉ニーズ （１）ニーズの把握 （２）多職種連携 （３）社会資源の活用方法
８～１４	４．社会福祉サービスの概観 （１）社会福祉サービスの体系 （２）社会福祉専門職とその役割
１５	５．今日の社会福祉の課題
評価方法	筆記試験、成果物
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度（３）社会保障・社会福祉　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	専門基礎分野：社会保障論
授業形態	講義
履修年次・時期	３年次　前期
単位数（時間）	１単位（１５時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師
科目目標： １．社会保障の基本的な考え方と社会保障制度を理解できる。	

授業計画

回	**内　　容**
１～２	１．現代社会と社会保障制度 （１）社会保障制度の概要 （２）社会保障制度の変遷と動向
３～８	２．社会保障制度 （１）社会保険 （２）公的扶助 （３）社会福祉 （４）公衆衛生および医療
評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度（３）社会保障・社会福祉　医学書院
備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）	

科目区分・科目名	専門基礎分野：関係法規
授業形態	講義
履修年次・時期	２年次　後期
単位数（時間）	２単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師 非常勤講師（＊） 専任教員（＊）

科目目標： １．法の概念を理解できる。
２．看護職に必要な法令を理解できる。
３．学習した法令をもとに看護職としての職務を遂行するための根拠や判断基準がわかる。

授業計画

回	内　　容
１～６	１．法に関する基礎的知識
７～９	２．医療法 ３．医療を支える法等
１０～１２	４．医薬品、医薬機器等、有効性及び安全性の確保等に関する法律 ５．麻薬及び向精神薬取締法等 ６．その他の薬事法
１３～１５	７．保健師助産師看護師法 ８．看護師等の人材確保の促進に関する法律 ９．労働法と社会基盤整備に関する法律
評価方法	筆記試験、成果物
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野　健康支援と社会保障制度（４）看護関係法令 医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）